

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科（ジュエリー選択）	単位	4単位
科目コード		科目名	ジュエリーデザインⅢ	授業期間	（通年）

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ジュエリーにおけるデザインワーク、コンセプトプランニングの演習により、インプット力、アウトプット力の強化
- ・デザイン発想力の向上、プレゼンテーション力の強化
- ・思考力、実践力の強化

## 【授業計画】

- 様々な石に合わせたジュエリーデザイン演習 〈10×2コマ〉  
 指定されたテーマに合わせたジュエリーデザイン  
 思考力、発想力の強化  
 デザイン→図面の作成→指示書の作成  
 石を変え、繰り返し演習する  
 プレゼンテーション  
 他者への伝え方
- コンテストデザイン画 〈6×2コマ〉  
 ・SUWA アンカットジュエリーデザインコンテスト  
 ・YKK ファスニングアワード  
 ・革コン  
 ・学内コンテスト  
 他  
 「コンテスト」のためのデザインアプローチ  
 コンセプトメイキング  
 伝わるデザイン
- コラボレーション 〈3×2コマ〉  
 コラボレーション作品のためのデザイン  
 求められていることは何かを理解し、正解を導き出すためのデザイン演習、プランニング
- マイ・コレクション 〈9×2コマ〉  
 過去に学んだ全ての技法を駆使し完成へと導く  
 コンセプトメイキング  
 〈ジュエリー制作実技Ⅲと連動〉
  - ・実用性
  - ・着装性
  - ・アート性
  - ・自己表現の探求
 卒業制作へ展開  
 〈卒業研究・創作と連動〉

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介  
 ジュエリー制作における金属加工技術の習得  
 本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科（ジュエリー選択）	単位	8単位
科目コード		科目名	ジュエリー制作技術Ⅲ	授業期間	（通年）

担当教員（代表）：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

2年間の知識を基に、さらに高度なジュエリー、アクセサリーにおけるより深い知識の習得を目指し、企業で活躍できるスキルを目標とする。また、「作品創作」と「商品製作」の違いを理解した上で、様々な要求に対応できる力をつける。課題テーマは、各自が応用・発展しやすいように設定し、オリジナリティーのある作品制作を行う。

## 【授業計画】

- |  |          |
|--|----------|
| 1. アンティークジュエリーテクニック<br>「フィリグリー」<br>金属加工技術の錬磨と向上<br>アイテム自由  | 〈10×2コマ〉 |
| 2. 金属伝統的テクニック<br>「木目金」の研究<br>金属加工技術の錬磨と向上<br>リングの作成  | 〈10×2コマ〉 |
| 3. 金属伝統的テクニック<br>「緋銅」の研究<br>金属加工技術の錬磨と向上<br>アイテム自由   | 〈10×2コマ〉 |
| 4. コラボレーション作品制作  | 〈11×2コマ〉 |
| 4. マイ・コレクション<br>過去に学んだ全ての技法を駆使し完成へと導く<br>コンセプトメイキング<br>〈ジュエリーデザインⅢと連動〉<br>・実用性<br>・着装性<br>・アート性<br>・自己表現の探求<br>卒業制作へ展開<br>〈卒業研究・創作と連動〉<br>5点以上 | 〈15×2コマ〉 |

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介  
ジュエリー制作における金属加工技術の習得  
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 ファッショングッズ専攻科	単位	6単位
科目コード	科目名 ハイジュエリー	授業期間	(通年)

担当教員(代表):筋野 久之	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】  
学生の自由な発想を時代の流れに融合し制作の完成度を追求、社会の変化に柔軟に対応する事を目標とする。

【授業計画】

彫り留めに必要な基本的な知識、必要最低限な工具の制作、  
プラチナ地金・ゴールド地金を使ったオリジナルジュエリーの制作、卒業制作に取り組む

1. 彫り留めに必要な工具の制作 毛彫り・片切・・・4×2コマ ・講義、実習
2. 彫り留めの基本・シルバー地金にジルコニアを3ピース留める・・・5×2コマ ・講義、実習
3. 彫り留め技法の応用・オリジナルデザインに彫り留めにて装身具の制作・・・5×2コマ ・講義、実習
4. バチカン模写・決められた4つの中から1つを選び忠実に再現  
(テクニック・観察力を鍛える)・・・5×2コマ ・講義、実習
5. プラチナ地金・ゴールド地金を使ったオリジナルデザインにて装身具の制作・1gジュエリー  
決められた地金の量にて装身具を制作、今までとは逆の制作工程になる。・・・10×2コマ ・講義、実習

【評価方法】  
S～C・F評価 学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 筋野 久之

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GJ3	科名 ファッショングッズ専攻科 (ジュエリー選択)	単 位	1単位
科目コード	科目名 ジュエリーCAD II	授業期間	前期

担当教員(代表) : 雨宮 宏晃	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

前年度に習得した基本技術を、問題演習を重ねる事でソフトの理解を高めより実践的な技術へと持っていく。  
 教員による問題の解説をし、現場の技術も習得することを目標にする。

## 【授業計画】

使用ソフト : ライノセラス  
 +ジュエリーバージョンの特殊ツールをプラス

- ・ 基本コマンド解説 復習 演習 2コマ
- ・ 問題演習 11コマ 講義・実習・解説
  - 基本コマンド演習 反復
  - 個人毎に必要なと思われるテクニックの強化
- ・ オリジナルデザイン起こしからのデータ作成

授業内で制作したデザインデータの出力は、講師企業にて3D出力 (光造形)

## 【評価方法】

出席20% 学業評価50% 授業姿勢30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 独自のテキスト

## 授業の特徴と担当教員紹介

特徴:現役のCADオペレーター OEM・自社ブランドの展開をしておりCAD以外での経験を講義できる

担当教員紹介:文化服装学院工芸科卒 卒業後ジュエリーの会社に加工職人として勤務、途中ジュエリーCADを扱う会社に転職し8年勤務 CADだけでなくジュエリー全体の実務を伝えられるよう目指す

記載者氏名 雨宮 宏晃

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GJ3	科名 ファッショングッズ専攻科	単位	17	単位
科目コード	科目名 選択 バッグ III	授業期間	通年	

担当教員(代表)：菊池 明子

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

2年間の知識を基に、さらに高度なデザイン力、パターンメイキング力、縫製テクニックの習得を目指し、企業で即戦力として活躍できるスキルを身につけることを目標とする。課題テーマは、各自が応用・発展しやすいように設定し、オリジナリティーのある作品制作を行う。

- ・バッグデザインⅢ・・・4単位(通年)
- ・バッグパターンメイキングⅢ・・・4単位(通年)
- ・バッグ制作実技ⅢA・・・4単位(前期)
- ・バッグ制作実技ⅢB・・・5単位(後期)

テーマ	方法	コマ数
1. ポストミシンの基礎縫い (前期)	講義・実習	3
2. 持ち手基礎縫い(丸手6種類)	講義・実習	5
3. マイバッグ(自分のための通学用バッグ)	デザイン・パターンメイキング 制作実習	22
4. コラボレーション(マッシュルームレザーのバッグ) ※ファッショングッズクリエイションと連動	デザイン・パターンメイキング 制作実習	18
5. 口金ダレスバッグ	デザイン・パターンメイキング 制作実習	33
6. ピッグスキンを使用したバッグ	デザイン・パターンメイキング 制作実習	24
7. バザー作品	デザイン・パターンメイキング 制作実習	21
8. オーダーバッグ(依頼によるデザイン、制作) (後期)	デザイン・パターンメイキング 制作実習	40
9. マイコレクション(卒業制作作品) 5点以上 ※卒業研究・創作と連動(4単位)	デザイン・パターンメイキング 制作実習	69 (60)

## 【評価方法】 S~C・F評価

デザイン、パターンメイキング、制作実技・・・学業評価(課題作品)80%、授業姿勢(出欠状況、授業態度)20%

主要教材図書 文化ファッション体系 ファッション工芸講座③ バッグ

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

学んできた知識と技術の基、各自の自由な発想からオリジナリティーあるバッグのデザイン・制作を行う。

学年末に集大成として、作品を発表する卒業制作作品展示を行う。

担当教員：同校のファッション工芸科を卒業後教員

記載者氏名 菊池 明子

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	合計17単位
科目コード		科目名	選択 シューズ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】  
 シューズ1、2年で習得したデザイン、設計、靴製作技術と専門知識を基に、各自の個性を生かして、さらに高付加価値なシューズの創作、研究と、作品制作を通して、将来シューズデザイナーとして、独立、ブランド起業などに繋がる力を身に付けることを目標にしている。

【授業計画】

シューズデザインⅢ	通年4単位
シューズパターンメイキングⅢ	通年4単位
シューズ制作実技ⅢA	前期4単位
シューズ制作実技ⅢB	後期5単位

  

1. 自分のためのパーティーシューズ	デザイン・パターンメイキング・制作実技	58コマ
2. モールドソールによるスニーカー	デザイン・パターンメイキング・制作実技	49コマ
3. バザー作品 (ルームシューズ)	デザイン・パターンメイキング・制作実技	13コマ
4. オリジナルラストによるシューズ	デザイン・パターンメイキング・制作実技	76コマ
5. 卒業制作 (マイコレクション)	デザイン・パターンメイキング・制作実技 (卒業研究・創作 60コマと連動)	49コマ

【評価方法】  
 S~C・F評価  
 デザイン、パターンメイキング、制作実技・・・学業評価(課題作品)80%、授業姿勢(出欠状況、授業態度)20%

主要教材図書	文化ファッション体系 ファッション工芸講座② シューズ
参考図書	
その他資料	

授業の特徴 : 学んできた知識、技術の基、各自が自由な発想からオリジナリティーあるシューズのデザイン・制作を行う。  
 学年末に集大成として、作品を発表する卒業制作作品展示を行う。

担当教員 : シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原 勝一

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科 3年	単 位	2 単位
科目コード	605550	科目名	ファッショングッズマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表) :	長井 恵子	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. 実際のマーチャンダイザーの業務内容を通して、マーチャンダイジング計画の重要性と理解を深める。
2. 各自でマップや計画書を作成し発表することで、実践力とプレゼンテーション力を養う。

## 【授業計画】

- I. マーチャンダイジング基本計画 講義（6コマ）
- ① マーチャンダイジング計画の基礎・・・マーチャンダイジングの定義
  - ② マーチャンダイザーの役割・・・マーチャンダイザーの業務、市場の基礎知識
- II. 情報収集と分析 講義（4コマ）
- ① 情報収集活動・・・市場での情報収集活動、ファッション市場情報源（情報収集の重要性）
  - ② 情報の分析・・・市場情報源、情報の分類（分析結果の活用）
- III. 情報収集活動の実践 マーケットリサーチから分析結果のプレゼンテーション（10コマ）
- ① マーケットトレンドの分析
    - ・流行っていることの理由を考える → プレゼンテーション
  - ② マーケットリサーチから結果を分析
    - ・都心型FB、郊外型SCをリサーチ・・・リサーチ報告書作成
    - ・結果分析及びプレゼンテーション・・・リサーチ結果に基づき各ターゲット客層のニーズ分析報告書を作成し発表
  - ③ ファッショントレンドの分析
    - ・現状マーケットからコレクション情報を加味した次シーズントレンドを予測し発表
- IV. バッグマーチャンダイジング計画 講義（6コマ）
- ① 商品計画・・・ブランド計画、シーズン計画、商品構成計画（店頭、市場とリンクした計画）
  - ② 計数計画及び店頭計画・・・生産計画、計数管理、販売・VMD計画（クリエイションの数値化）
- V. マーチャンダイジング活動の実践 MD計画及び商品企画の作成（4コマ）
- ① 商品企画及び販売計画の作成及びプレゼンテーション
    - ・商品企画及び販売計画・・・テーマに基づきデザイン考案及び販売計画案を作成
    - ・プレゼンテーション及びディスカッション・・・各自発表し意見交換
  - ② MD計画の作成及びプレゼンテーション
    - ・マーチャンダイジング計画の作成・・・分析結果からシーズンイメージマップ及びMD計画書を作成
    - ・プレゼンテーション・・・各自で発表後、全体でディスカッション

## 【評価方法】

S～C・F評価 学業評価：70%、授業姿勢：30%

すべての課題について評価し、特にV.の「商品企画及び販売計画」「マーチャンダイジング計画」を重視。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

## 授業の特徴と担当教員紹介

現在ファッション雑貨の現場で仕事をしているため、今の状況や旬な情報を踏まえた内容で進行。  
大手アパレルにて雑貨MDを長年経験後独立しフリーランスに。現在は大手アパレル及び商社等の企画支援を行っている。

記載者氏名 長井 恵子

# 2023度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	3単位
科目コード	500000	科目名	ファッショングッズクリエイション	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) :	菊池 明子	共同担当者 :	宮原 勝一 大工原 睦 板野 景子
------------	-------	---------	-------------------

**【授業概要、到達目標・レベル設定】**  
 ファッショングッズに関する幅広い知識を習得する。  
 1, 2年次で触れていない材料や制作方法を知ること、各専門アイテムにおけるデザインの幅を広げると共に、新たなグッズの発想や制作する力を身に付ける。  
 また、ニューエナジー出店に向けて、商品としてのデザイン・製作に取り組み、販売を目指す。

**【授業計画】**

1. マッシュルームレザーコラボ マッシュルームレザーの提供を受け、各専門アイテムのデザイン・作品制作	講義・実習・・・8コマ
2. 金属加工会社見学 椎名製作所の見学を通して、ジュエリーの制作工程を理解する	校外授業・・・2コマ
3. バッグ（曲げまちバッグの制作） 基礎知識・製作工程を学ぶ 担当教員：菊池 明子	講義・実習・・・8コマ
4. シューズ 基礎知識・足型計測 担当教員：宮原 勝一	講義・実習・・・2コマ
5. ジュエリー（指輪の制作） 基礎知識・製作工程を学ぶ 担当教員：大工原 睦	講義・実習・・・8コマ
6. 帽子（クロッシユの制作） 基礎知識・製作工程を学ぶ 担当教員：板野 景子	講義・実習・・・4コマ
7. ニューエナジー商品製作 出店に向けた商品のデザイン・製作	実習・・・8コマ

**【評価方法】** S～C・F評価  
 学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書
参考図書
その他資料 各専門の教科書

**授業の特徴と担当教員紹介**  
 各専門科目以外のファッショングッズを学ぶことができ、さらに学生相互に自身の専門以外の情報交換ができる機会。  
 商品としてのデザイン・製作・販売を目指す。  
 各アイテムの専門講師が指導できる体制をとる。

記載者氏名 菊池 明子



# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	1単位
科目コード		科目名	ファッショングッズ特殊技法	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 角森 智至	共同担当者 :
------------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>授業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッグ選択の学生は普段のバッグ製作とは異なる視点で製作に取り組むことで、ジュエリー・シューズ選択の学生は普段とは異なるカテゴリの製作物への取り組みを通して、作り手またはデザイナーとしての視野を拡げ今後の活動(卒業製作、就職活動、仕事)においてより良い成果へ繋げるための知識および経験を得る</li> </ul> <p>授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・革財布の製作</li> </ul> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を提出して終わりではなく、授業で得たことを今後の作品や仕事に応用できる状態になることを目指す</li> </ul>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.</td> <td style="width: 40%;">概要説明</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">講義</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">1コマ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.</td> <td>革財布の制作</td> <td style="text-align: center;">実習</td> <td style="text-align: center;">13コマ</td> </tr> </table>	1.	概要説明	講義	1コマ	2.	革財布の制作	実習	13コマ
1.	概要説明	講義	1コマ					
2.	革財布の制作	実習	13コマ					

<p>【評価方法】</p> <p>S~C・F評価 評価基準 : 学業評価 80% 、授業姿勢 20%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p style="text-align: center;">なし</p>
---

<p>参考図書</p>
-------------

<p>その他資料</p>
--------------

<p>授業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・革財布の制作をとおして、基礎知識と専門的な縫製テクニックを学ぶ。</li> </ul> <p>担当教員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角森 智至 / Satoshi Tsunomori</li> <li>・objcts.io 製品責任者兼デザイナー</li> <li>・文化服装学院 ファッション工芸専門課程 バッグデザイン科 2009年卒業後、土屋鞆製造所に入社し、製造、製品開発、生産管理など革製品の“ものづくり”を幅広く経験。現在は、“objcts.io”(オブジェクトツアイオー)にて、「たった一人のためのものづくり」を信念に、現代人にとって不要な制限を解放し、創造のための一歩を後押しする美しいレザープロダクトを生み出している。</li> </ul>
--

<p>記載者氏名</p> <p style="text-align: center;">角森 智至</p>
---

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	1 単位
科目コード	科目名	ビジュアルプレゼンテーション	授業期間	前期

担当教員(代表) :

丸島 優理

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・VPの社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニング～実行までの作業を行う
- ・ターゲットや目的を明確にしビジネスに近い提案方法を実践する
- ・ピンワークのテクニックを学びVPや作品作りに活かす

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
・VMD概論 (VP・PP・IP)	講義/実習	4			
・ピンワーク基礎実習 マネキン1体 (アンビエ・ダブルピエ・ドレーブ)	実習				
(ギャザリング・タッキング)	実習				
↓ 5つの手法を使用して演習 ★評価	実習	↓			
・VP個人演習(「テグスワーク」実習)	講義/演習	4			
↓ 課題説明・プランニング	演習				
↓ 演習 ★評価	演習				
↓	演習	↓			
・VPグループ演習(課題説明・参考画像)	講義/グループ活動	6			
↓ プランニング(コンセプト・イメージetc)	グループ活動				
↓ 演出小道具準備	グループ活動				
↓ 演出小道具準備	グループ活動				
↓ グループ毎に演習 ★評価	グループ活動				
↓	グループ活動	↓			

## 【評価方法】

- ① 完成作品 ② コンセプトシート ③ 授業態度 ④ 出欠状況 総合的に評価

## 授業の特徴と担当教員紹介

コンセプトやターゲットを明確にし、より実践的な思考でビジュアルプレゼンテーションの効果を学ぶ。  
アパレルブランドのVMD、バイヤーを経て、現在は服飾雑貨のMDとして勤務しております。

## 主要教材図書

参考図書 文化ファッション講座ピンワーク etc

その他資料 オリジナルPowerPoint、参考画像

記載者氏名 丸島 優理

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単 位	1 単位
科目コード		科目名	コンピューターワーク	授業期間	前期

担当教員(代表)：飯塚 有葉

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. Word の操作方法を習得し、ビジネス文書の作成力を身につける。
2. Excel の操作方法を習得し、関数や計算式を利用して効率よくデータを分析する力を身につける。
3. 3D ソフトでのモデリング・テクスチャ表現ができる力を身につける。

## 【授業計画】

1. Word の基本操作：2コマ  
社内文書の作成・インデント・箇条書きの理解
2. Excel の基本操作・発注書・請求書の作成：2コマ
3. Excel の数式・関数について：3コマ  
売上表の作成と集計・基本の関数
4. 3D ソフトの基本操作：2コマ  
視点の操作、拡大・縮小、ポリゴンモデリング、
5. 3D ソフトでのモデリング方法：4コマ  
基本的なモデリング方法、専門グッズのモデリング
6. 3D ソフトのテクスチャ表現とレンダリング：2コマ

## 【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

## 主要教材図書

## 参考図書

その他資料 使用ソフト Microsoft Word2019/Excel2019、Blender3.5

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらWord・Excelの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルテキストスタイルデザインを専門としており、消耗品・プリント料金の集計等の日常業務で身に付けた作業効率を高めるPCスキルを授業に活かしています。

記載者氏名 飯塚 有葉

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単 位	2 単位
科目コード	202450	科目名	マテリアルワーク	授業期間	( 前期 )

担当教員(代表) : 山内 祐子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】  
 従来の材料にとらわれず、独自のデザイン発想から素材を生かした表現方法を考えられる力を養う。  
 2年次までの専門アイテムの幅を広げられるように装飾的な表現で用いられる材料の特徴や制作方法も理解する。

【授業計画】

1. 糸からモチーフ(面)を作る ニットの一般知識 かぎ針編みの基礎	講義・演習・・・6コマ
2. 糸やテープを用いたモチーフや立体物の表現	講義・演習・・・6コマ
3. 皮革の加工研究 立体加工と表面加工	講義・演習・・・6コマ
4. 素材研究 リネアペレのサンプルを基に、素材の表現を研究、試作する	講義・演習・・・4コマ
5. 水溶性シートを用いたレース調の素材表現	講義・演習・・・1コマ
6. 羽根についての知識と使い方	講義・演習・・・1コマ
7. 染色や塗料についての加工	講義・・・1コマ
8. 標本制作 1～7で演習したものを、一つの見本帳にまとめる 形態は自由	講義・実習・・・3コマ

【評価方法】 S～C・F評価  
 学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書
参考図書 文化ファッション大系服飾関連講座⑧「手芸」・文化ファッション大系アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介  
 いろいろな角度から素材の使い方や加工について、試作を行います。

記載者氏名 山内 祐子

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	1単位
科目コード	501250	科目名	アイテムデザイン画	授業期間	前期

担当教員(代表) : 河西 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

創る可能性を様々な角度から考え、作り、デザイン展開していくことを目標とする。  
独自の発想をより具体的にクリエイションし、テクニックや構成力を強化していく。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 【紙からの造形デザイン】 (3コマ)

#### ●形を具体化にデザイン

…紙の無の状態から形を作り、立体状の凹凸のディテールやフォルムをデザインに表現

### 【創作デザイン及び企画構成】 …デザイン発想の資料収集と探求、バリエーションデザイン表現の強化

#### ●ファッショングッズデザイン (4.5コマ)

…バッグ・シューズ・帽子・アクセサリ等、それぞれのアイテム基本を習得し

グッズコーディネートイメージファッション案を通じてデザインのトータル構成をする

#### ●研究デザイン (3.5コマ)

…オリジナル素材の研究デザインとして、可能な限りの材料を集めサンプルスワッチ的な素材を作る

その新たな素材を用いるための探求とアイテムデザイン表現を、各自研究構成にまとめる

#### ●コンテスト応募作品 (2コマ)

### 【時間内課題】 (1コマ)

#### ●前期デザイン画試験

## 【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準：学業評価80% (課題作品提出物と前期試験)、授業姿勢20% (出欠状況, 授業態度を考慮)

## 主要教材図書

参考図書 : 個々にリサーチした各分野での専門書やカタログ等

その他資料 : ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

## 授業の特徴と担当教員紹介

[特徴]…アイテムデザインの強化習得。企画構成へのクリエイション展開。

[担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師として勤務。その後、ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	1単位
科目コード		科目名	特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：菊池 明子

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン、またグッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事、特殊機材やその活用方法など、多方面にわたる講師による講義や演習を通して、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

## 【授業計画】

1. 流行色解説	講師：流行色協会講師	講義 2コマ
2. KUONの取り組み	講師：石橋 真一郎	講義 1コマ
3. NEW ENERGYの取り組み	講師：イチロー	講義 1コマ
4. issey miyakeの世界	講師：宮前 義之	講義 1コマ
5. CAD・CAMについて	講師：宮澤 国博	講義・実習 3コマ
6. 毛皮について	講師：梨本 チエコ	講義 2コマ
7. フリーランスデザイナーについて	講師：横山 英也	講義 1コマ
8. 商品企画におけるプレゼンテーション	講師：佐藤 功人	講義 2コマ

## 【評価方法】

P評価 学業姿勢・出欠状況・レポート提出 の状況を基に、是非を決定する

主要教材図書

なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の多方面にわたる講師による講義・実習

記載者氏名 菊池 明子

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	1~4 単位
科目コード		科目名	選択・インターンシップ	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 菊池 明子

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事を確認するとともに、学校教育では体験できない実務を学ぶ。  
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上とともに、就職に結びつける機会にする。

## 【授業計画】

### ・研修先

選択コースに関連する企業

### ・期間

長期休暇中（夏休み・冬休み）

1週間~4週間

※受け入れ先企業により異なる

### ・研修内容

工場見学

工場実務作業

実務作業補助（デザイン、制作、営業、生産管理など）

商品の検品

※受け入れ先企業より組まれる

## 【評価方法】

P評価 出欠、研修報告

※学生の希望、及び企業の受け入れ状況を考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

なし

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事を確認するとともに、学校教育では体験できない実務を学ぶ。

記載者氏名 菊池 明子

# 2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GJ3	科名	ファッショングッズ専攻科	単位	6 単位
科目コード		科目名	卒業研究・創作	授業期間	( 後期 )

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

3年間の集大成として各自が研究テーマを設定し企画デザイン創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学ぶことを目標とする。

## 【授業計画】

平常授業 4 単位  
平常授業後 2 単位

- ・選択科目を中心に、各自がテーマを設定し、デザイン・創作を行う。
- ・作品点数は、選択科目によるが3~4点、又はそれに見合う作品制作。
- ・展示発表の企画、運営係を設定し、担当の仕事を実行しながら、チームとして活動する。

【評価方法】 S~C・F 評価 学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

3年間の集大成として各自の研究テーマに基づきデザイン創作、展示を行う。  
教員は、本校を卒業した専任講師、専門の非常勤講師が担当

記載者氏名 菊池 明子